

co-GENET information



当財団のホームページをご活用ください。

当財団のホームページは、2012年度のコージェネ導入実績、業界最新動向などコンテンツが充実しています。

ぜひとも皆さまにご活用いただきたく、ご案内いたします。

URL: <http://www.ace.or.jp>

ACEJ

検索



編集後記

広報委員長 岡本 利之

夏の昼間電力需要が逼迫して、都市全体が節電モードとなり、早や、3年が経過しました。

その間、各事業者は、BCP対策として、自らコージェネレーションシステムを導入する動きが活発化し、本篇でもご紹介したとおり、2012年度は、約38万kWも設置されました。この傾向は、今後も継続され、増え続けていきます。

いかに最重要負荷を見出して、適正容量のコージェネレーションを導入するか、また、いかに廃熱の利用先を見出すかなど、これからはソリューション力も必要となります。加えて、メーカーの対応機種のパリエーション充実など、関連企業が一体となって、コージェネレーションシステム導入の取り組み強化を図っています。

これからも、その最新情報をお届けいたします。

2012年度 コージェネ導入実績

(単年度、全燃料): 新設導入量

	民生用 (家庭用除く)	産業用	合 計	2011年度 (参考)
発電容量(万kW)	5	32.9	37.9	10.8
台数	718	220	938	493

・新設の設置容量は対前年比で3.5倍の37万9千kW、台数は対前年比1.9倍の938台となりました。

これは過去最高の伸び率となっています。

・2012年度の民生分野では、電源が重要な病院をはじめ、公共施設や事務所といった用途に多く導入されています。

・2012年度の産業用業種では、エネルギー関係をはじめ、機械(主に自動車)、化学といった業種に多く導入されています。

導入実績の累計

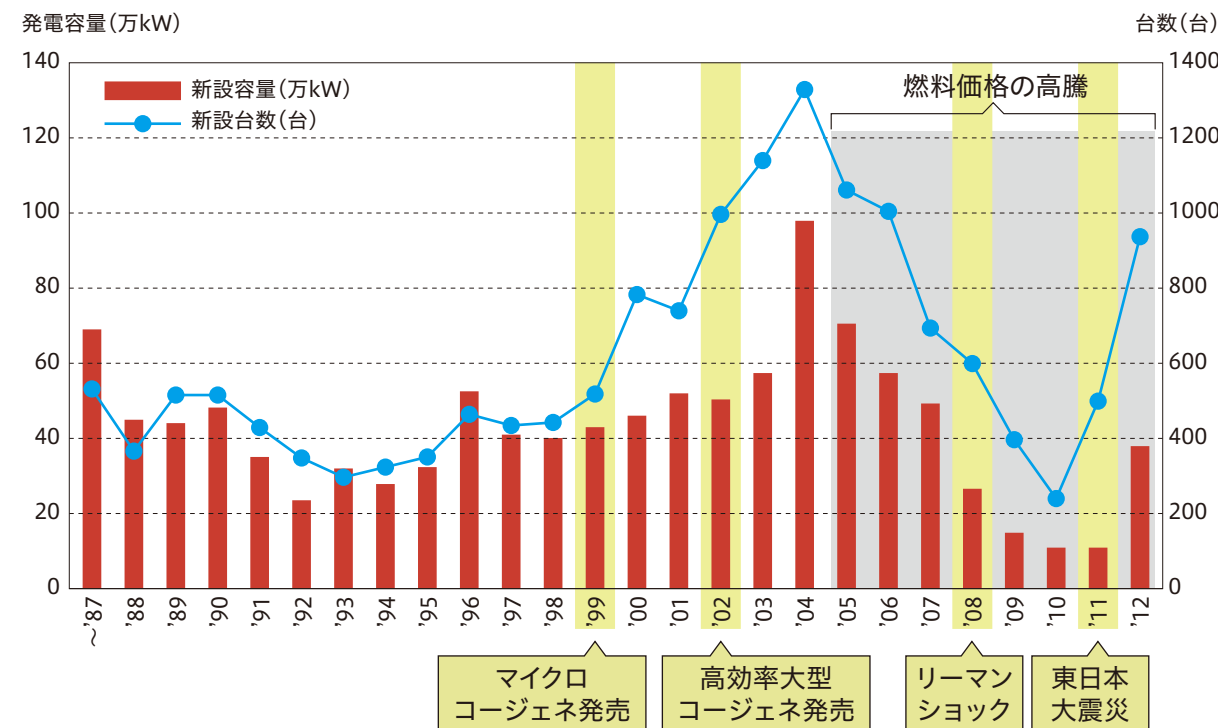
(累計、全燃料): 撤去・削減分を差し引いた値

	民生用 (家庭用除く)	産業用	合 計	2011年度 (参考)
発電容量(万kW)	206	779.2	985.2	962.6
台数	10,098	4,325	14,423	13,693

・累積(撤去・削減分を差し引いた値)では、985万2千kWになり、2011年度末に比べて

22万7千kWの増加となりました。

・累計設置台数(撤去・削減分を差し引いた値)は、14,423台となり、2011年度末に比べて730台の増加となりました。



・2004年度までは、コージェネ導入量・導入台数は、効率の高い新型コージェネの発売等もあって順調に伸びていました。

・2005年度以降、燃料価格の高騰、2008年度のリーマンショックを受けて、コージェネの導入量は減少の一途をたどっていました。

・しかし、2011年3月11日の東日本大震災以降、電源確保へのニーズの高まり(BCP)等から、まず比較的導入しやすい小型のものから導入が拡大して台数が伸び、2012年度には小型に続いて比較的年数がかかる大型=産業用関係の導入が拡大しています。

詳しくは当財団HPをご覧ください

2012年度コージェネレーション導入実績

当財団は、会員企業全社を対象とした調査をもとに、2012年度のコージェネレーション導入実績をまとめました。